“ありがとうが行き交う医療®”をみんなで創る
医療面接訓練士 MITP®FC 養成講座

JaMITAC®
一般社団法人 日本医療面接訓練評価センター
Japan Medical Interview Training and Assessment Center

“医療者の治したい・支えたい想い” と “患者さん・ご家族の治りたい想い”
その懸け橋として「医療面接訓練7つの力」に参加して “こころに響く言葉 と
誠意と自信と覚悟“ が伝わり合う「予防し 治し 支え合う医療」に貢献しませんか！

人生100年・人工知能時代、超高齢少子多死社会に向き合う医療界。目の前のひとりの患者・家族と真摯に向き合う医療専門職へ、言葉でエールを送るだけでなく、実践を伴うサポートの手を差し伸べたい。日本医療面接訓練評価センター：JaMITAC® は、その志を「JaMITAC®式 総合的医療面接訓練7つの力」に具現化しました。“次世代を拓く医療人”とともに学びはぐくみ合い、医療者の達成感・充実感と、医療者・患者・家族・地域の「納得と安心と信頼」が通い合う “ありがとうが行き交う医療®”を実現させましょう！

講座内容

「医療面接訓練士® コンピテンシー・ディクショナリー」 に基づいて設計

- 「総合的医療面接能力養成の重要性」「医療面接訓練 7つの力」「医療コミュニケーションスキル」を理解する
- 医療面接訓練士チーム ： MITP® FC の有用性を知る
- 医療面接訓練士チーム ： MITP® FC 技能を習得する
  1）「 患者／家族プロフィール・人生の物語り 」創作
  2）パフォーマンス　3）フィードバック　4）アセスメント

講 師

JaMITAC式 医療面接訓練士®コーディネーター
黒岩かをる

JaMITAC ®代表の黒岩は、医療面接訓練士MITP® FC チームの想いを教育効果に反映させるために、発足以来、生きた教材/教育資源としてのMITP®FCの質にこだわってきました。　医療面接訓練士 MITP® FCの皆様には プロフェッショナルとしての誇り をもって効果的・効率的・魅力的な訓練評価を提供し達成感・充実感・満足感を得ていただけるようこころを籠めて鋭意プログラムを設計しています。

講師の「なぜ、この活動を？」は、「患者を生きる」に紹介されています。
http://www.kuntoh-juku.net/company/pdf/200809_asahi.pdf

日 程

2018 年　8月より　開講予定
全3回 講座 （計18時間）

会 場

JaMITAC ® 東京本部研修センター 「凜」
JaMITAC ® 福岡支部研修センター 「薫」

費 用

◆ 受講料　無料（3周年記念企画）

資格取得まで

お申込み → 講座受講 → 講座終了 → 修了証 → 認定 → MITP®
→ 実地訓練 → 認定試験 → 合格 → 認定 → MITF → さらに経験により MITC

JaMITAC®式医療面接訓練7つの力における MITP®FCの役割

プロの医療面接訓練士 チームが、リアリティ溢れる「患者/家族プロフィールと人生の物語り」を創造して、臨場感あふれるシミュレーション・トレーニングの場 を現出します。

学習者が、本気で真剣に向き合うことにより、医療者・患者・家族間の“認識や想いのズレ” へ気づいて、行動変容へと動機づけられる「気づいて変わる」学びのサイクル を生み出します。

JaMITAC®式医療面接訓練士チーム

「7つの力」を支える「3本柱」

- インデックス表示再生映像を活用した双方向対話型FB
- 総合的医療面接能力評価／個人行動目標設定シート

JaMITAC式 医療面接訓練士®チームメンバーの役割

MITP® (ミットピー)= Medical Interview Training Performer
パフォーマー ： 患者・家族役に全神経を集中し、次世代を拓く医療人育成の現場に臨みます。

MITF （ミットエフ）= Medical Interview Training Facilitator
ファシリテーター： 訓練当日の進行を担当し、受講者全員が真剣に本気で参加できるよう演出します。

MITC （ミットシー）= Medical Interview Training Coordinator
コーディネーター： 現場のニーズに応えてプログラムの設計からフォローアップまでの統括指揮を担います。

JaMITAC式医療面接訓練士®チーム に求められる能力

- 想像力：患者・家族の人生の物語り を綿密に創り上げ、アドリブさえもその患者・家族として発する人物設定
- 表現力：患者・家族プロフィールに忠実に、一貫性ある反応で、学習者を本気で真剣に向き合わせるリアリティ
- 対応力：やりとりで湧き起こったありのままの感情を、学習者の反応に気遣いながら伝える温かいフィードバック

JaMITAC式医療面接訓練士チーム MITP® FCは

患者の代弁者ではなく、医療者の側に立つものでもなく
両者をつなぐ　中立的な役割を果たす
“人間シミュレーター” （ 生きた教材・教育資源 ）です

Copyright © 2018 JaMITAC All Rights Reserved

JaMITAC式 医療面接訓練士® チーム：MITP®・MITF・MITC への Q&A

Q MITP® FCは、シミュレーショントレーニング（ST）でどのように医療のお役に立つのですか？

A 日本の医療の質向上、安心安全文化に貢献できます。

医療者は、医療面接訓練士チームによる気づいて変わるSTによって「知識と技術を紡ぐ医療コミュニケーション」の重要性に気づき、“こころに響く言葉と誠意と自信と覚悟”が伝わり合う「総合的医療面接能力」が身に付きます。

医療者一人ひとりが、その優れた専門能力を充分に発揮できるようになり良質で安全な医療の実現に繋がるのです。

Q ボランティアのSP（エスピー：Simulated Patient：模擬患者）さんとはどのように違うのですか？

A 医療面接訓練士MITP®：パフォーマーは、養成講座で訓練・認定された プロ です。

模擬患者という方法論は、非常に有効な教育方略であるが故に、学習者にトラウマをもたらすなど諸刃の剣となる危険性も孕んでいます。MITP®は自らを「医療者の人生に深く関わる教育資源である」と深く認識した上で、育成をお手伝いする役割遂行能力を身に付けたプロフェッショナルです。

Q 私は看護師／薬剤師です。医療者は模擬患者に向いていないと聞きますが、大丈夫ですか？

A はい、大丈夫です。職業や立場は関係ありません。

現在活躍している医療面接訓練士MITP®FCには、薬剤師さんや看護師さんもいます。非医療者の気持ちや感覚に近づくことができたり、想像力・表現力・対応力などのコミュニケーション能力は本業においても大変役に立ち、高いモチベーションの原動力になっています。非医療者だから向いている、医療者だから向いていないということはありません。

Q 私や家族の闘病中にはいろいろ辛い体験をしました。その貴重な経験を活かせますか？

A 受療体験は、想像を膨らませるのに役立ちます。

しかし、過去に医療においてひどく傷ついたり、現在医療不信に陥っている人が、この場をかりて医療への不満を訴えたり医療者を批判したり非難したりする場にしてはなりません。

患者・家族のこころの奥の声を、医療者に伝える意義は大きいのですが、責める気持ちからではなく学習者を支援する教育的視点から発する言動が非常に効果的なのです。

Q 医療面接訓練士MITP®：パフォーマー でなくても医療者同士のロープレでも十分ではないですか？

A 学習者同士での ロールプレイ は、どうしても「照れ」がでて「おままごと」のようになりがちです。

特に学生さんですと、年齢による人生経験だけの人物像の幅しか表現できず、リアリティが低くなることは否めません。

医療面接訓練士MITP®は、医療者同士では伝わりきれない非医療者の感覚を、具体的な言葉や態度で表現して、リアリティと臨場感あふれるシミュレーショントレーニングの場を現出し、学習者の行動変容への動機づけを高め「気づいて変わる」学びのサイクル創出を支援するのです。

Q 医療面接訓練士MITC：コーディネーター はどんなことをする人ですか？その役割は？

A 教官・指導医、学習者、医療面接訓練士MITP®MITF全員の 達成感・充実感・満足感を高めます。

医療面接シミュレーション・トレーニングに際して、教官や指導医/者は学習目標に沿った周到な準備をする必要があります。それには模擬患者の設定や心理的演出も含みますが、実に手間と時間のかかる作業であり、忙しい教育・医療現場にそれを求めるのは至難の業です。

MITCは、訓練に関わる三者の懸け橋となり、円滑に最大限の効果を挙げるための総合プロデュースを担います。

JaMITAC式 医療面接訓練士® チームの活動風景

医療者の物語りと患者の物語りが出会う医療面接の場

以前、薬を飲みたくないという役割を演じる模擬患者さんのデモンストレーションを見学したことがありました。医師役がどんなに共感的に働きかけても「飲みたくない」の一点張りだったので、なぜなのか聞いてみたら「シナリオにそう書いてあったから」と言うんです。それは**学習者に大変失礼ではないでしょうか？**

薬を飲みたくないのにはそれなりの背景があるはずです。患者にはそれまでの生活や想いといった物語りがある。医療面接とは医療者の物語りと患者の物語りとの出会いの場ですから、訓練の場でそれを語ることはなくても、そう想ったり考える背景まで設計しておかなければトレーニングになりません。だから、設定を細かく詰めておくのです。設定にないことを聞かれるとどうしてもその人でない自分が出てしまって微妙な齟齬が生じ、リアリティ溢れる教材としての十分な学習効果を発揮できないからです。

―代表 黒岩 インタビュー記事より―

詳細は、ホームページをご覧ください。https://www.jamitac.or.jp

東京本部事務局　〒104-0051 東京都中央区佃
東京研修センター「凜」　1-11-6-15F TEL (03)5548-3140

福岡支部事務局　〒810-0024 福岡市中央区桜坂
福岡研修センター「薫」　1丁目 11-29 TEL (092)741-1805

応募やお問い合わせは info@jamitac.or.jp へ

＜納得と安心と信頼＞が通い合う
ありがとうが行き交う医療®

JaMITAC®
一般社団法人 日本医療面接訓練評価センター
Japan Medical Interview Training and Assessment Center